

鳥取市歴史文化基本構想

歴史文化遺産を守り、伝えるために

令和4年3月

鳥取市教育委員会

ごあいさつ



本市は、日本海や豊富な水量を誇る千代川など豊かな自然に恵まれ、これらによって育まれた歴史文化遺産が各地域に数多く残っています。

しかし、近年は他の多くの都市と同様に少子高齢化・核家族化をはじめ様々な社会構造の変化や地球温暖化に伴う気候変動による自然災害の増加などにより、文化財を取り巻く環境は大きく変わり、歴史文化遺産を次世代へ継承していくことが困難な状況になりつつあります。

このような中で、本市としては次世代に歴史文化遺産を継承していくため、また第2期鳥取市教育大綱及び教育振興基本計画の中に掲げている「歴史と文化が息づくふるさとの創生」を推進するために、文化財保護に関するマスタープランとなる歴史文化基本構想を策定しました。

本構想では、これまで地域ごとに認識されていた歴史文化遺産を幅広く対象とし、またそれらを保存・活用していくための体制や取組を示すことができました。

本構想で掲げた取組の推進により、本市の歴史文化遺産が適切に保存・活用され、次世代へと継承されていくことが期待されます。

結びにあたり、本構想の策定にあたり様々なご指導・ご助言をいただきました文化庁、鳥取県をはじめ本基本構想策定委員の方々、アンケート調査にご協力して下さった多くの市民や小学生の皆さまに深くお礼を申し上げます。

令和4年3月

鳥取市教育委員会

教育長 尾室 高志

例 言

1. 本書は平成30年度から令和3年度にかけて策定した鳥取市歴史文化基本構想である。
2. 本書は基本構想と基本構想策定に伴って得られた資料をまとめた資料編の2分冊によって構成されている。
3. 本構想の策定にあたっては、次の文化庁の事業の補助金を受けて実施した。
 平成30年度 文化遺産総合活用推進事業補助金
 平成31年度(令和元年度) 地域文化財総合活用推進事業補助金
 令和2年度 地域文化財総合活用推進事業補助金
4. 本構想策定にあたっては、鳥取市歴史文化基本構想策定委員会、鳥取市歴史文化基本構想調査委員会を組織し、検討を行った。
5. 本構想の策定にあたっては、基礎調査を公益財団法人鳥取市文化財団に委託し、計画策定の支援業務を株式会社都市景観設計に委託し、鳥取市教育委員会事務局文化財課が編集を行った。事務局の体制は以下のとおりである。

役 職	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
課 長	富田 恵子	富田 恵子	佐々木 敏彦	佐々木 敏彦
課長補佐	佐々木 孝文	佐々木 孝文	佐々木 孝文	佐々木 孝文
主 査	松原 雅彦	松原 雅彦	-----	-----
係 長	-----	-----	加川 崇	加川 崇
主 幹	加川 崇	加川 崇	-----	-----
主 任	坂田 邦彦	坂田 邦彦	坂田 邦彦	坂田 邦彦
主 事	-----	-----	寺西 和代 田野 詩織	田野 詩織
会計年度任用職員	-----	-----	田中 瞳	田中 瞳

6. 本書に使用している地図は、国土地理院の基盤地図情報をもとに作成した。
7. 本書を作成するにあたっては関係機関及び多くの方々からご指導・ご助言をいただきました。また写真及び絵図等の掲載にあたっては関係機関及び多くの方々からご協力いただいた。明記して深謝いたします。(敬称略、順不同)
 文化庁地域文化創生本部 岡山大学附属図書館 加知弥神社 賀露神社 観音寺 国英神社 倉田八幡宮 景福寺 讓傳寺 森福寺 大安興寺 大雲院 太鼓谷稲成神社 宝泉寺 東光寺 鳥取県 鳥取県地域づくり推進部文化財局とっとり弥生の王国推進課 鳥取県地域づくり推進部文化財局文化財課 鳥取県埋蔵文化財センター 鳥取県立公文書館 鳥取県立図書館 鳥取県立博物館 鳥取市あおや郷土館 鳥取市因幡万葉歴史館 鳥取市歴史博物館 鳥取市埋蔵文化財センター 鳥取大学乾燥地研究センター 鳥取大学地域学部 鳥取東照宮 鳥取童謡・おもちゃ館「わらべ館」 鳥取民藝美術館 有限会社かみんぐさじ 永明寺 渡辺美術館 青木清輝 石井伸宏 伊藤康晴 奥田照子 奥村寧子 河根裕二 木谷晴人 小山浩和 坂本敬司 塩義行 田中勢一郎 谷岡陽一 椿壽幸 中山和之 橋詰峯子 前田昭博 森佳樹 山内健 山下健 横山展宏
8. 本書作成に伴って作成された記録類は、鳥取市教育委員会に保管されている。



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

平成30年度 文化遺産総合活用推進事業補助金

平成31年度(令和元年度)・令和2年度

地域文化財総合活用推進事業補助金

鳥取市歴史文化基本構想

目次

第1章 鳥取市歴史文化基本構想策定にあたって

1. 歴史文化基本構想策定の背景と目的	002
2. 歴史文化基本構想と上位計画・関連計画	
(1) 歴史文化基本構想の位置付け	003
(2) 上位計画・関連計画・関連法令	
1) 上位計画	004
2) 関連計画	005
3) 関連法令	010
3. 策定体制と経緯	
(1) 策定体制	014
(2) 策定の経緯	015

第2章 鳥取市の概要

1. 鳥取市の位置と面積	022
2. 自然環境	
(1) 地形	023
(2) 地質	024
1) 古生代の変成岩類	025
2) 中生代後期の火山岩類を貫く深成岩	025
3) 新第三紀の地層(約2,500万年前～)	025
4) 第四紀の地層(約200万年前～)	025
(3) 自然景観と鳥取市の地形・地質の関わり	027
1) 鳥取砂丘	027
2) 山陰海岸国立公園	029
3) 山陰海岸ジオパーク	029
(4) 植生	031
(5) 動物	032
(6) 気候	034
3. 社会的環境	
(1) 人口	035
(2) 産業	038

1) 第1次産業	038
2) 第2次産業	040
3) 第3次産業	040
(3) 交通	040
(4) 観光	042
(5) 土地利用	045
4. 鳥取市の歴史的環境	
(1) 歴史の始まり	046
(2) 古代の鳥取市	049
(3) 中世の鳥取市	051
(4) 近世の鳥取市	054
(5) 近代の鳥取市	055
(6) 現代の鳥取市	057
(7) 鳥取市の災害史	
1) 風水雪害	058
2) 震災	059
3) 火災	060
5. 鳥取市の歴史文化遺産	
(1) 歴史文化遺産の考え方	061
(2) 鳥取市の指定等文化財の現状	
1) 文化財の体系	062
2) 文化財等指定の現状	063
(3) 鳥取市の歴史文化遺産調査の現状と課題	
1) 有形文化財	070
2) 無形文化財	072
3) 民俗文化財	073
4) 記念物	074
5) 文化的景観	076
6) 伝統的建造物群	076
7) 文化財の保存技術	076
 第3章 地域の歴史文化	
1. 地域の歴史文化をどうとらえるか	078
2. 地域の設定	078

3. 地域で醸成された歴史文化の視点	081
①因幡万葉地域	083
②砂丘農業地域	100
③鳥取市街地地域	112
④湖山池周辺地域	142
⑤鷲峰山麓地域	161
⑥鳥取市南部地域	184

第4章 鳥取市を代表する歴史文化

鳥取市を代表する歴史文化について	204
1. 鳥取市の豊かな自然と歴史	206
2. 山の道と海の道と汽車の道	214
3. 城と町と街道	224
4. 四季の祭りや伝統行事	240
5. 石ぶみが語り伝える歴史	246
6. 伝説や伝承に見る因幡のものがたり	250
7. 民藝運動と地域の伝統産業	254

第5章 鳥取市の歴史文化遺産を保存・活用するために

1. 「歴史文化遺産」と「文化財」の考え方	261
2. 文化財として保存・活用を図るために	
(1) 文化財の保存と活用の体系について	262
(2) 文化財の保存について	262
(3) 文化財の活用について	262
3. 文化財の体系で把握できない歴史文化遺産について	262
4. 鳥取市歴史文化基本構想の目標と取り組み	262
(1) 文化財の保存と活用・次世代への継承	
1) 歴史文化遺産の調査	264
2) 指定等文化財の適正な保存・活用	264
3) 歴史文化遺産のデータベース化	264
(2) 郷土を愛する人材の育成	
1) 担い手の育成	264
2) 歴史文化遺産を生かした情報発信	264
3) 歴史文化遺産の公開や説明会の開催	265

4) 学校教育や社会教育との連携	265
(3) 歴史と文化の薫りに満ちた活力あるまちづくりの推進	
1) 活用のための支援団体の育成	265
2) 歴史文化を生かしたまちづくり	266
3) 防犯・防災・減災対策の充実	266
5. 保存・活用に向けたそれぞれの役割	267
(1) 行政の役割	267
(2) 市民の役割	267
(3) 各種団体の役割	268
(4) 専門機関の役割	268
(5) 地域と連携した取り組み事例	269
6. 保存・活用に向けた運営体制	270
7. 保存・活用のための財源の確保	270
8. 保存・活用に向けての今後の取り組み	271

